

貸借対照表

2019年3月31日現在

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
(流動資産)		(流動負債)	
	2,456,374		1,673,194
現金	1,649	支払手形	
当座預金	11,302	買掛金	
普通預金	41,638	工事未払金	629,914
通知預金		短期借入金	
定期預金		リース未払金	
定期積金		未払消費税	29,805
受取手形		未払法人税等	9,174
完成工事未収入金	69,431	未払費用	15,758
売掛金	4,782	未成工事受入金	806,776
販売用土地	795,953	前受り	
販売用建物	230,344	預り金	126,601
未成工事支出金	181,648	完成工事補償引当金	4,164
商品及び製品		繰延税金負債	
原材料及び貯蔵品	512	賞与引当金	51,000
前払金	1,315	関係会社未払費用	
前払費用	5,111	資産除去債務	
短期貸付金		(固定負債)	198,407
預り金		長期借入金	
関係会社預り金	1,082,187	長期リース未払金	
未収入金	28,810	退職給付引当金	15,998
立替金	444	長期預り金	81,486
繰延税金資産		工事保証金	77,923
貸倒引当金		資産除去債務	23,000
関係会社未収入金	1,240		
(固定資産)	184,087	負債合計	1,871,602
有形固定資産	62,462	純資産の部	
建物	13,046	株主資本	768,859
展示場	29,836	資本金	40,000
構築物	299	資本剰余金	6,746
車両運搬具	5,138	資本準備金	
工具器具備品	14,142	その他資本剰余金	6,746
土地			
リース資産		利益剰余金	722,112
建設仮勘定	0	利益準備金	10,000
無形固定資産	144	別途積立金	685,000
電話加入権	144	繰越利益剰余金	27,112
電信電話専用権		(うち当期利益)	20,543
施設利用権			
ソフトウェア		自己株式	0
リース資産			
投資その他の資産	121,480	評価・換算差額等	
投資有価証券		その他有価証券評価差額金	0
長期貸付金	81,290		
長期預り金		純資産合計	768,859
長期前払費用		負債・純資産合計	2,640,461
長期債権			
その他の投資等			
長期繰延税金資産	40,190		
貸倒引当金			
資産合計	2,640,461		

個別注記表

重要な会計方針

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

主として個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）。

2. 固定資産の減価償却方法

(1)有形固定資産(リース資産除く)……………定額法

(2)無形固定資産(リース資産除く)……………定額法

(3)リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産…リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

3. 引当金の計上基準

貸倒引当金…債権の貸倒による損失に備える為、法人税の規定による限度相当額を繰入しているほか、個別債権の取立て不能見込み額を繰入れている。

賞与引当金…従業員に対して支給する賞与に充てる為、支給見積額を適正に見積り、引当額として繰入れている。

完成工事補償引当金…請負にかかる目的物の欠陥につき、クレーム費用を旧税制下の税制基準限度額(法定繰入率)規定により計上している他、金額を合理的に見積もった額による。

退職給付引当金…従業員の退職により支給する退職給与に充てる為、加入しているパナソニックグループ基金退職給付制度予定要支給額を繰入れている。

4. 収益及び費用の計上の方法

完成工事高及び完成工事原価

工期のごく短いもの等については工事完成工事基準を適用し、その他の工事では当事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積は原価比例法）を適用している。

貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額	310,172,134円
2. つなぎローン保証残高	159,400,000円
3. 関係会社に対する短期金銭債務	0円
同長期金銭債務	0円(金銭債権も金銭債務に準ずる)
(関係会社=支配株主・子会社・関連会社)	